



再利用されるペットボトル

プラスチックごみは焼却ではなくリサイクルとして活用を

一般質問映像



すぎもり  
杉森

けんじ  
賢二

議員



**Q** 町民と協働で循環型経済の構築を

**A** ごみの減量化、再資源化の取り組みを図っていく

**ごみの削減と焼却場対策**

**問** プラスチックごみは、焼却ではなく、リサイクルとして活用されることになれば、環境にもやさしく、ひとつの環境対策にもつながる。循環経済の実現に向け、見解と今後の対策は。

くらし環境課長 当町は、平成14年度から他市町に先駆けてプラスチック製容器包装と、その他プラスチックの分別回収を行っている。令和2年度の実績は、ペットボトル73トン、容器包装プラスチック967トン、その他、合計1095トンが排出され前年度より20ト

ン増加している。当町の先進的な取り組みは高く評価されて全国自治体のケーススタディとして採択され、令和4年度から施行されるプラスチック資源循環促進法を制定する際の足掛かりとなった。今後、環境省から具体的な方針が示され次第対応していく。

**問** 環境的、効率的、経済的に優れたごみ焼却場共同整備の早期実現を。  
**課長** 現在、県は「静岡県一般廃棄物処理広域化マスタープラン」を策定中であるため、広域化もひとつの選択肢として、広域化の話が具体化してきた時点で改めて検討していく。

**Q** 新たな時代に向けた再生可能エネルギー活用を

**A** 再生可能エネルギー導入については多角的に模索していく

**再生可能エネルギーの活用とサステイナブルエコツーリズム**

**問** 鮎壺公園は公園全体をエコパークに。長泉町パークゴルフ場は、環境にやさしい施設として自然エネルギーを取り入れていく考えは。  
**建設計画課長** 鮎壺公園

は、公園内に計画している交流施設の設計に向けて、屋根にソーラーパネルの設置を検討していきたい。  
**健康増進課長** 長泉町パークゴルフ場は、整備検討委員会及び管理運営検討委員会の意見を基に、桃沢地区の自然と調和を図り、多世代で楽しめる

施設として、令和4年10の供用開始を目指している。クラブハウスは小規模であり、施設の電力消費量は少なく、立地状況から再生可能エネルギーの設置は考えていない。  
**問** 「環境保全」「観光振興」「地域振興」を基盤とした「サステイナブル

エコツーリズムの実現を。  
**都市環境部長** 地域の環境資源や素材を十分に活かした取り組みは、地域の「つながり」「活性化」を併発させ大変有効である。現在、こうした考え方も踏まえ「第3期長泉町観光交流ビジョン」の策定を進めている。